

# 横瀬町立横瀬小学校校舎整備検討委員会 第6回検討委員会概要(平成31年1月23日)(横瀬町町民会館大会議室)

## ○次第

1. 開会
2. あいさつ
3. 審議事項  
(1)横瀬小学校校舎建築基本計画について  
(2)その他
4. 閉会

## ○あいさつ(委員長)

本日は最も重要な校舎をどう作るかという基本計画の中身についての議論をお願いしたい。

事務局でまとめた基本計画案の記述や研究室で作成したモデルプランについて、グループ内で議論し、要望や意見をいただきたい。

## ○横瀬小学校校舎建築基本計画について

事務局より、基本計画(案)について概要を説明しました。その後、柳澤委員長より補足説明及び配置のモデルプランについて説明した後に、意見交換を行いました。

### ・横瀬小学校基本計画(案)の概要

1. 配置計画
2. 校舎全体の平面計画・ゾーニング
3. 普通教室の計画
4. 図書室の計画
5. 特別教室の計画
6. 管理所室の計画
7. その他の生活関連施設の計画
8. 生活環境のデザイン
9. 将来計画
10. 学校の安全・セキュリティ
11. エコ・スクール
12. 学校ICTへの対応
13. ユニバーサルデザイン・サイン計画・家具備品計画

### ・配置モデルプラン

- ① 新校舎を体育館の南側に建築
- ② 新校舎を東南側に建築
- ③ 新校舎を現在の位置に2段階で建築(分棟)
- ④ 新校舎を現在の位置に2段階で建築(一体型)



## ○基本計画(案)に対する主な意見

・新校舎から特別教室を抜いた計画になっていますが、新校舎に特別教室を入れた方がよいのでは。特別教室は頻りに利用するので動線が長くなること、第1校舎と特別教室棟の改修が大規模になるのではないかと。放課後子ども教室の問題もあるので、そのことも押さえて考えないと難しいのでは。

→今の案だと確かにかかりの改修が必要になります。面積的に収まるような一つの活用案であり、現段階での事務局案をもとに考えをまとめたものなので事務局の説明をお願いします。

→事務局としては第1校舎や特別教室棟をできるだけ利用するため、容易に移せる特別教室については移したいと考えています。ただ、大規模改修が必要なものもありますので、検討したうえで新校舎に置くことも必要になってくることも考えられます。実際には基本設計の段階で詳細に検討したい。なるべく新校舎の規模を抑えることと、普通教室を優先的に新校舎に配置することを検討した結果、特別教室をなるべく移す方向でまとめている。放課後子ども教室についても、実際に進めていく中での検討課題として考えたい。

→第1校舎を残す前提でどう利用するのかを考えた場合、今の事務局案では特別教室になっています。それに関しては決定ではないので、いろいろな意見があると思いますので議論していただきたい。

・第1校舎を利用していく場合に何年もつのか。もし20年くらいで取り壊すことになると、また変なレイアウトになったり、新たに校舎を建てることにならないか。教職員アンケートの配置に関する調査結果が一つも入っていないのは問題ではないか。

・20年前に第1校舎を改修しましたが、なるべく現状を壊さないように改修しました。あまりいじると何のために残すのか意味がなくなります。第1校舎はそのまま利用し、できるだけ新校舎に配置した方がよい。それと、この配置案の面積が現状の敷地に入るのかが疑問であります。

・正確ではないがある程度の図面を元に計画しています。あくまでも基本計画のモデルプランなので100%ではないがおそらく配置できます。実際には基本設計で詳細に検討することになります。

・RC造の耐用年数は60年、木造の耐用年数は補修をすれば非常に長い。第1校舎は大規模改修をしているので、何年もつかという基礎の耐用年数の60年はもつのでは。第1校舎の使い方として大きな工事はして欲しくない。水回りの改修を伴う特別教室は新校舎に入れて、あまり手を入れなくても済むものは第1校舎に入れてもよいのでは。また、今までのようにどこかの学年が1年間過ごせば、そのスペースに特別教室を配置できるのでは。

・改修の設計に携わったが、悪くなっていたのは基礎の部分でした。木造校舎は材料的には素晴らしいものを使用しています。木造で何年もつかという基礎を改修すれば半永久的にもつのではないかと。埼玉県内に木造校舎は2軒ほどしか残っていない、また横瀬のシンボルという話もあります。今まで残してきた意味を考えると、何としても残してもらいたい。私としても木造校舎は十分活用していただき、6年間の内の1年間は木造校舎で過ごすということがよいのでは。

→事務局としても特別教室の配置については、検討して無理なものは新校舎に配置すると考えています。第1校舎については多少の改修は必要であるが、なるべくいじらずに使用する方向に進めていきたい。

また、教職員のアンケートの中で全てを一体型の校舎にして欲しいとあるが、予算をいくらでもかけてよいということであればそれも可能であります。しかし、ある程度費用を抑えようとすると第1校舎を利用することになるので、必ずしも先生方の希望どおりにはならないということも理解していただきたい。

・この計画で進めて実際にできるのか。予算を示し、必要最小面積はどれくらいなのか、金額と数値を出してもらいたい。なるべくコンパクトにする基本計画の私案を提出しましたが、あまり反映されていません。ここまで盛り込んだものが実際にできるのか。町の体力があるのか、ここまで見てよいのか、そろそろ決めていただきたい。

## ○基本計画（案）に対する主な意見

・横瀬町の特徴のあるものにしてほしい。何でも便利にすればよいのではなく、木造校舎が引き継がれていて、それを今でも使いながら教育をしていることを横瀬町の特色としてよいのではないか。第1校舎はなるべく予算をかけずに改修し、横瀬町の特徴のある使い方をしてほしい。おそらく昔からの木造校舎を利用している学校はほとんどないので、横瀬町の誇れる教育施設になるのではないかと。先生方も横瀬町に赴任されたら横瀬町の特徴を意識して教育をしていただきたい。

・建築単価を出し概算費用を計算していかないと進まない。金額はつきまとうので考慮していただきたい。吹き抜けをやめるなど面積を減らす工夫もしていただきたい。また、年度をまたぐ工事になるとその分予算も余計にかかるので、工夫してなるべく予算の緊縮をしていただきたい。仮設費用や曳家費用のように具体的な費用を出してもらえば、なるべく費用をかけないでよいものが作れるのではないかと。

→学校機能を含んだ一体型の校舎を作る部分と、既存の校舎を利用しながら仮設校舎を作らないとなると分散型にならざるを得ない部分があります。学校としての機能やコストのバランスを見て現状で考えられる案を示しました。学校として魅力的な部分をどれだけ取り込むか、コストとのバランスを見ながら機能の拡張を考えるのが大きなポイントになります。簡単ではないと思いますが各班で議論していただきたい。

・一体型なのか、分散もやむを得ないのか、それくらいのコストの状況は教えてほしい。予算を教えてください。

→面積については、第2、第3校舎の現状面積にワークスペースや多目的スペースを加えたものになっています。

想定している予算額については、近隣の建設実績に基づく単価や設計会社の見積りを参考にし比較すると、㎡単価16万から32万くらいの幅があります。これはあくまで建設費であり、外構工事や解体工事等が別にかかる試算しています。その他に機能の充実にかかる部分、特に力を入れたい部分についても考えています。単価の幅もあることからはっきりとはできないが、建設単価を参考に想定しています。

第1校舎の利用等についても現状の制約のある条件の中で、只今の意見をできるだけ基本計画に反映させていきたい。

基本計画であるので、皆さんの理想、思いをできるだけ取り入れていきたい。もう一方で当然財政的な制約もあり、全部を見られない部分もあるかもしれないが、そこは基本設計、実施設計の中でしっかりと検討することになると考えています。

そのことを踏まえて基本計画について審議いただきたい。

→基本的には、基本構想・計画の段階ではあくまでも理想的な計画案として作るものです。おそらく予算的なものについてはかなりの幅があり、その時の状況により変動しますので、次の段階、実際の設計段階で予算に合わせた判断が必要になります。

第1校舎の使い方についてはコンセンサスをとっておいた方がよい。

## ○各班で議論した内容を発表

### 第3班

横瀬町独自の特徴を取り入れたらよいのでは。今ある機能を外に移すと改修コストがかかるので、使えるものはしっかり使いコストを抑える。中庭や吹き抜けを設けると耐久性やメンテナンスの問題もあります。横瀬は自然が多いので中庭は必要ないのでは。第2、第3校舎の面積合計が2,854㎡で、計画図面より1,000㎡くらい少ない。もう少し規模を縮小して計画していただきたい。

### 第2班

3,000㎡から4,000㎡は欲しいということだが、少子化を考えたら大きいのでは。ワークスペース等がないので欲しいということはわかりますが、仮に3,500㎡に先ほどの㎡単価を掛けると建設費だけで11億2千万円、それに設備、ICT関連備品等をとくを含めると15億くらいになると思います。とりあえず建設費11億2千万円という金額をだせるか聞きたい。

### 第3班

柳澤先生の話ですと、企画案ということで、今は予算とか規模ではなくどういふものを作りたいかを検討しているので、子ども達のためにこういうものができるとかと思っていました。今日の話のなかで、これは案としての校舎で、予算とかもあり、最終的にはこういうものが作れないという話も出たので驚きました。将来の子ども達を使う校舎であるので、よりよいもの、横瀬町にふさわしい校舎を作れるよう自分たちが意見を述べて、最終的によい校舎ができるように、みんなで考えていけたらと思っています。

→基本構想・計画の意図は、あくまでも理想的な学校を作ることを大きな目的としています。コストは曖昧な部分もあり、施工段階で明確になる場合もあります。最近では予算を決めて設計施工を一体で行うデザインビルド方式という手法が増えてきているが、コストに引張られて作りたいものが作れないというデメリットも指摘されています。コストを意識することも大切ですが、実際には段階的に調整していくことになるのでは。今回の意見を参考に計画案の見直しをしながら再度議論をしたいと思っています。

→先ほどの予算については、基本計画を作成する中での予算的な部分はなるべく考えず、基礎的な部分を示していただきたいと考えていたわけで、単価と規模から想定していただきたい。どの時点で出すかは持ち帰り検討させていただきたい。

→今回第1校舎の使い方について意見をいただいたが、第1校舎の使い方については検討委員会としての意見としてまとめたので、各班で議論していただきたい。

→第1校舎等の使い方については基本計画に盛り込んだ方がよい。使い方については委員の意見をまとめて修正することになります。予算に関してはこの先の段階で細かく検討することになりますので、現段階では決めにくいのでは。

## ○第1校舎の使い方について各班で議論した内容を発表

**第1班** 第1校舎の使い方については、将来人口が減少した場合にフレキシブルに使うため、職員室も含めて現状のまま使用する。特別教室もそのまま使用する。

**第2班** 普通教室として最低でも1学年は使用し、あまり改修しなくても移せる特別教室を配置する。特別教室等もなるべく改修せずに移せる特別教室として使用する。

**第3班** 職員室をそのまま使うのは難しい。現状は手狭でロッカー、コンセントも不足しています。管理面でも問題があります。丁寧に改修すれば普通教室として使用するのは可能。職員室、校長室等の場所に改修が最小限度の特別教室を移す。大事にしながら新校舎に移せるものは移していただきたい。この児童数でどれだけの教室が必要かを確認し、丁寧に検討していただきたい。

→各班の中でもいろいろな意見があったようですが、今の案のように全ての普通教室を新校舎に配置することはないようです。面積もあまり大きくならないように再度検討できればとか考えています。

→只今の意見を持ち帰り、事務局案を修正したい。また横瀬らしさも盛り込むように検討したい。

○次回検討委員会については、2月中旬で日程調整し連絡することとしました。